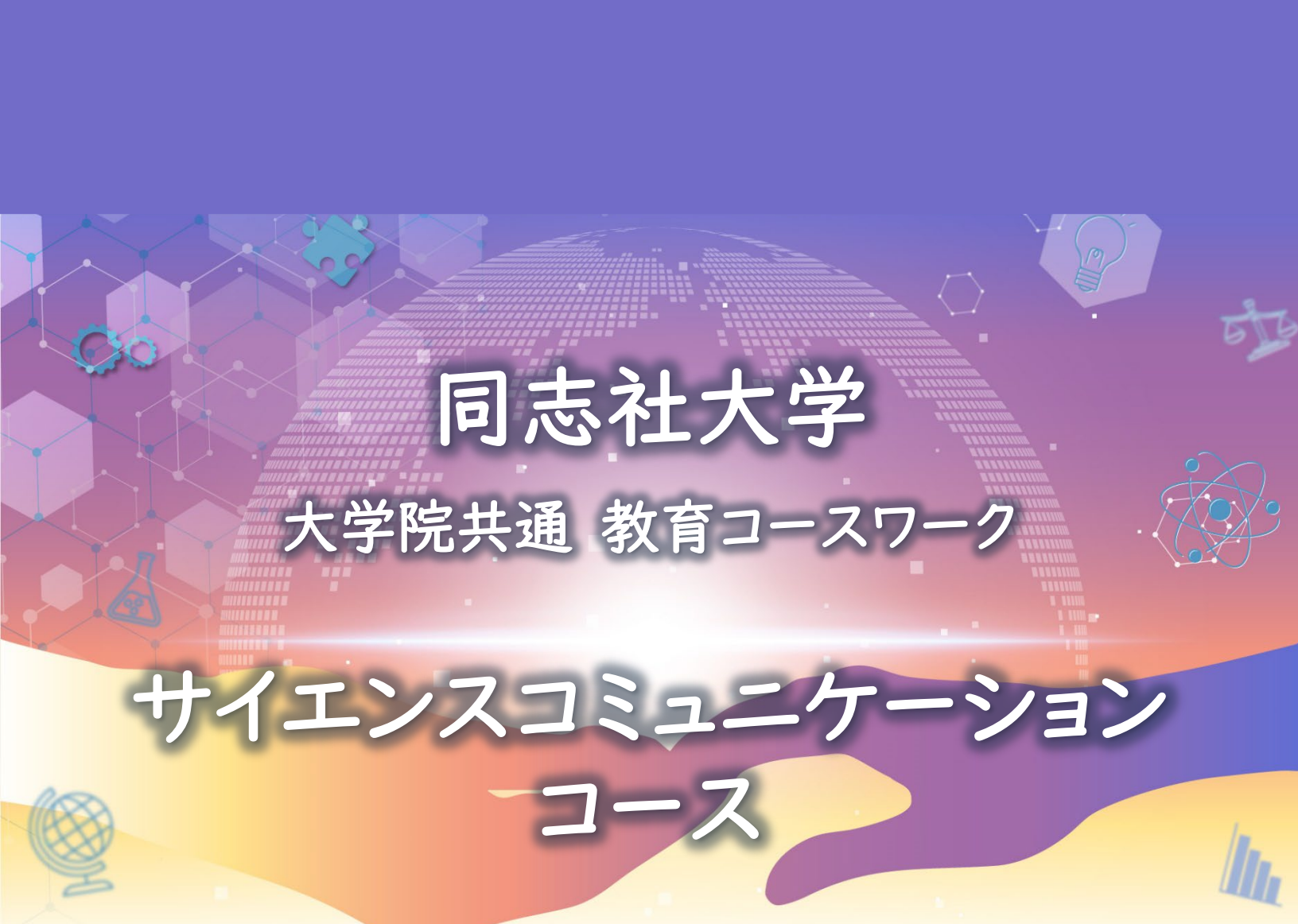




同志社大学

大学院共通 教育コースワーク

サイエンスコミュニケーション コース

2026 年度
履修要項

I. サイエンスコミュニケーションコース設立の趣旨	2
II. 人材養成目的・コースワークの特徴.....	2
1. 人材養成目的	2
2. コースワークの特徴	2
III. コースワークの履修	3
1. コースワークの履修資格	3
2. コースワークの履修手続き.....	3
3. コースワークの全体像.....	3
IV. コースワークの修了要件	4
1. 修了必要単位	4
2. 履修期間.....	4
3. 修了判定.....	4
4. 修了証	4
V. 科目の履修登録	5
1. 科目登録、試験、成績	5
2. 開講科目一覧表	5

I. サイエンスコミュニケーションコース設立の趣旨

サイエンスコミュニケーションコースは、科学技術と社会の関係性を深く理解し、科学的知見を社会に適切に伝達するとともに、対話を通じて相互理解を促進することを目的としています。現代社会において、科学と社会の関係はますます複雑化しており、科学的情報を正確に、かつわかりやすく発信できる専門人材の育成は喫緊の課題となっています。本コースは、本学の全大学院生を対象に、理論と実践を融合した教育を提供し、科学と社会をつなぐ高度なコミュニケーション能力を涵養します。

II. 人材養成目的・コースワークの特徴

1. 人材養成目的

本コースワークでは、科学技術に関する基礎知識を社会的文脈で理解し、科学的情報を適切に扱う技能を備えた人材を育成します。さらに、科学的知見を社会に伝える際の論理的構成力や表現力を養い、対話を通じて社会課題に科学的視点から貢献できる能力を涵養します。

本コースワークの科目は、同志社大学大学院共通科目であるアドバンスト・リベラルアーツ科目群（以下、ALA 科目群）に指定されています。ALA 科目群は、大学院で培った専門的な学びと分野横断的な学びを融合し、文理を超えた視点や柔軟な創造力・提案力を備えた人材の育成を目的として開設されており、リベラルアーツ教育の理念に則り、“良心”を精神的支柱として、「普遍的な見方から全体像を捉える「俯瞰力」」「複数の専門知を組み合わせ（文理融合）の事象にアプローチできる「総合力」」「未来の社会を読み解く「創造力」」「良心を支柱に人間社会の将来のあり方を示す「提案力」」を兼ね備え、現代社会で活躍できる社会イノベーターを育成します。

2. コースワークの特徴

理論と実践の二本柱

「理論」科目で科学と社会の関係性やコミュニケーションの枠組みを学び、
「実践」科目で科学的情報をわかりやすく伝えるスキルを修得します。

学際的アプローチ

生命科学、バイオテクノロジー、宇宙、法と医療など多様なテーマを扱い、幅広い視野を養います。

実践的活動

プレゼンテーション、ライティング、映像制作、フィールドワークを通じて、科学的情報発信の実践力を強化します。

Ⅲ. コースワークの履修

1. コースワークの履修資格

本コースワークは、本学大学院博士課程の前期課程・後期課程に所属する学生の皆さんに履修資格があります。

本コースワークの科目は「高等研究教育院設置科目」であり、修得した単位は、所属する研究科の課程修了単位に算入できる場合があります。算入の可否、算入単位の上限等は、研究科ごとに異なるため、所属する研究科の履修要項で確認し、履修計画を立ててください。

※前期課程 2 年次生、後期課程 2 年次生・3 年次生からの履修も可能です。

2. コースワークの履修手続き

本コースワークの科目は、1 科目からの履修が可能です。科目登録以外に別途手続きはありません。

セット登録科目の「サイエンスコミュニケーション特論Ⅰ」および「サイエンスコミュニケーション特論Ⅱ」を履修登録した学生を、コースワークの修了対象者とし、コースワーク修了判定を行います。

3. コースワークの全体像

本コースワークは、「理論」「実践」から成り、履修者はそれぞれから科目を履修します。「理論」を1科目以上受講した後に、「実践」を受講することを推奨します。

1	理論
科学と社会の関係性やコミュニケーションの枠組みについて、多様なテーマに沿って理解を深め、幅広い視野を養います。	【科目】 ・バイオテクノロジー特論 ・宇宙をめぐるコミュニケーション特論 ・生命科学特論 ・法と医療と社会の関わり特論
2	実践
科学的知見を社会にわかりやすく伝えるスキルを実践的に修得することを目的とし、科学情報の発信に必要なライティング、プレゼンテーション、映像制作などの技術を学ぶとともに、対話型ワークショップやプロジェクト型学習を通じて科学と社会をつなぐ実践力を養います。 論理的でわかりやすい表現力を獲得し、多様なメディアを活用した科学コミュニケーションを実践し、社会課題に対して科学的視点から提案できる能力の取得を目指します。	【科目】 ・サイエンスコミュニケーション特論Ⅰ ・サイエンスコミュニケーション特論Ⅱ

Ⅳ. コースワークの修了要件

本コースワークを修了するためには、以下に記載する「修了必要単位」の要件を満たすことが求められます。

1. 修了必要単位

修了必要単位数は、8 単位以上とする。

ただし、「理論」から 2 科目 4 単位以上、「実践」から 2 科目 4 単位の修得を必要とする。

科目群	必要単位数
理論	2 科目 4 単位以上
実践	2 科目 4 単位
合計	4 科目 8 単位以上

2. 履修期間

本コースワークは1年間で修了可能とする。

また、初年度に「理論」、2年目に「実践」の履修をする等の複数年での修了も可能とする。

3. 修了判定

本コースワークでは、毎年秋学期の採点が終了した段階で、修了要件を満たしている者に対して修了判定を行う。

4. 修了証

本コースワークの修了者には、希望者に対して修了を証明するオープンバッジを発行する。オープンバッジ発行に関する案内は修了者にのみメールで案内する。



オープンバッジイメージ

V. 科目の履修登録

1. 科目登録、試験、成績

科目の履修登録については、一般登録期間に学習支援システム DUET にてご自身で登録してください。

科目の情報（課題・休講情報等）は、DUET より案内します。適宜 DUET にログインの上、科目の情報を把握するようにして本コースワークの試験方法は科目ごとに設定され、成績評価は本学のGPA制度にもとづき行います。

2. 開講科目

校 地	今：今出川校地開講科目 田：京田辺校地開講科目
集中講義	○：特定の曜日講時ではなく、集中的に講義が行われる科目

※生命医科学研究科の大学院生が「バイオテクノロジー特論」「サイエンスコミュニケーション特論Ⅰ・Ⅱ」を履修する場合、生命医科学研究科設置科目（科目コード：314****）を履修登録してください。

科目群	科目コード	クラス	科目名	担当者	単位数	開講校地	開講期間	講時	備考
理論	35640101	001	バイオテクノロジー特論	野口 範子 三田 雄一郎 谷 正之 高木 昌宏 菅 裕明 上田 真由美 富田 眞巳 斎藤 芳郎 石川 克司 GERALD THOMAS PETERS	2	京田辺（主）	春	火 4, 5 隔週	京田辺校地受講者 →対面（教室） 今出川校地受講者 →リアルタイム配信（教室）
	35640101	051				今出川（副）			
	35640102	001	宇宙をめぐるコミュニケーション特論	野口範子 三田 雄一郎	2	京田辺（主）	春	水 5	ゲストスピーカー： 柴田一成 他 京田辺校地受講者 →対面（教室） 今出川校地受講者 →リアルタイム配信（教室）
	35640102	051				今出川（副）			
	35640103	001	生命科学特論	祝迫恵子 土田 華鈴	2	京田辺（副）	春	金 3, 4 隔週	京田辺校地受講者 →リアルタイム配信（教室） 今出川校地受講者 →対面（教室）
	35640103	051				今出川（主）			
	35640104	001	法と医療と社会の関わり特論	祝迫恵子 野口範子 後藤 宙人	2	京田辺（副）	秋	金 5, 6 隔週	京田辺校地受講者 →リアルタイム配信（教室） 今出川校地受講者 →対面（教室）
	35640104	051				今出川（主）			
実践	35640201	000	サイエンスコミュニケーション特論Ⅰ	元村有希子	2	京田辺	秋	火 4	セット登録科目のため、 2科目の同時履修が 必須となります。
	35640202	000	サイエンスコミュニケーション特論Ⅱ	元村有希子	2	京田辺	秋	火 5	

【問合せ・連絡先】

同志社大学 高等研究教育院事務室

(今出川校地 致遠館 2F)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

[TEL] 075-251-3259 / [FAX] 075-251-3152

[E-mail] ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp

[WEB] <https://next.doshisha.ac.jp>

